

# 叙勲

## 瑞宝単光章

平成19年春の叙勲で、本町の芳賀正雄さん（船越・74）が、消防功勞として瑞宝単光章に輝きました。長年にわたり消防団員として地域の安全を守ってきたその功績に、光が当てられました。

# 地域を守り47年 長年の努力に光



芳賀正雄さん  
（船越・74歳）

### 〈消防功勞〉

「このような栄誉をいただき、とても驚いています。与えられた任務を遂行しなければという気持ちでこれまでやってきましたので、うれしく

もあり、照れくさくもありますね」と笑顔で語る芳賀正雄さん。昭和34年に消防団第1分団に入団し、49年に班長、58年に副分団長、62年に分団長、平成6年から本部分団長を務め、18年に退団するまでの47年間、本町の消防活動に尽力しました。

昭和36年の三陸フェーン火災や51年の国有林火災に出動し、火災現場の最前線で懸命な消防活動に取り組んだ芳賀さん。61年、平成11年に発生した記録的な豪雨災害では、避難誘導や河川のはらん防止作業を行い、被害を最小限にとどめるなど献

身的に活動を行ってきました。二番印象に残っているのは、昭和37年ごろに船越で山火事があり消防活動を終えて帰ってきたら、今度は別な場所でも蒸気機関車の釜から火が燃え移って山火事が発生したことがありました。山火事の際には現在のような消防器具がなかったので、地域の住民総出でトウガやスコップを使って延焼拡大を防ぐための溝を掘るくらいしかできず、大変に苦労しました」と当時の様子を振り返ります。

火災予防は家庭からを自論とする芳賀さんは、日ごろの啓発活動が大切であると考え、強風の日など火災多発期には積極的に地区内を回り、地域住民への用心を呼び掛けました。「これまで消防団活動を続けてこれたのも、すべて内助の功あつてのことですね。わたし一人の力ではここまでできなかったと思います」と妻トキエさんへの感謝の気持ちも忘れません。

今後の抱負については「現役は引退しましたが、地元第1分団を支援したいと思っています。地域の防災のため、わたしができる限りのことは協力していきたいですね」と地域を愛する心はまだまだ現役です。

## 東日本選抜中学校相撲大会

### 荒川君(山田中)が3位入賞



荒川平くん  
（山田中3年）

対戦。下手投げで惜しくも敗れ、3位となりました。荒川君は「目標は優勝だったので、3位入賞は残念な結果でした。これからもっと練習して、7月の県中総体で優勝し、全国大会でベスト4を目指したい」と決意を新たにしています。

第4回東日本選抜中学校相撲大会で、山田中3年の荒川平君が3位に入賞しました。大会は5月13日に秋田市で開催され、1道7県から選ばれた中学生力士109人が出場しました。初戦から順調に勝ち進んだ荒川君は、準決勝で長谷川将臣選手（青森県三沢第二中）と